

平成 29 年 10 月 31 日

沖縄電力株式会社

平成 29 年度 第 2 四半期決算について

1. 販売の状況

当第 2 四半期の販売電力量は、電灯については、4 月から 6 月の気温が前年に比べ低めに推移したものの、お客さま数が増加したことによる需要増により、前年同期並みとなりました。また、電力については、4 月から 6 月の気温が前年に比べ低めに推移したことや、他事業者への契約切り替えによる需要減により、前年同期を下回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ 1.2%減の 41 億 97 百万 kWh となりました。

2. 収支の状況

当第 2 四半期の収支の状況について、収入面では、電気事業において、販売電力量の減少があったものの、燃料費調整制度の影響により、売上高（営業収益）は前年同期に比べ 93 億 98 百万円増（9.8%増）の 1,050 億 78 百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、減価償却費や修繕費が減少したものの、燃料費や他社購入電力料が増加したことから、営業費用は前年同期に比べ 88 億 17 百万円増（10.4%増）の 939 億 62 百万円となりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ 5 億 80 百万円増（5.5%増）の 111 億 15 百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は 6 億 95 百万円増（7.2%増）の 104 億 14 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 6 億 89 百万円増（9.1%増）の 82 億 55 百万円となりました。

なお、当年度の中間配当金については、1 株につき 30 円といたします。

3. 連結業績予想

平成 29 年度通期の連結業績予想について、売上高は、電気事業において、販売電力量の増加による電灯電力料の増加が見込まれるため、前回発表（平成 29 年 7 月 28 日）より 36 億円増（1.9%増）の 1,955 億円を見込んでおります。

利益については、電気事業において、燃料費や他社購入電力料、修繕費の増加などが見込まれるため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については前回発表の通り、それぞれ 77 億円、62 億円、46 億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 28 年度 第 2 四半期累計 (実績)	平成 29 年度 第 2 四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	1,686	1,692	+ 6	+0.4%
電 力	2,562	2,505	△57	△2.2%
合 計	4,248	4,197	△51	△1.2%

■連結経営成績 (5年ぶりの増収増益)

(単位：百万円)

	平成 28 年度 第 2 四半期累計 (実績)	平成 29 年度 第 2 四半期累計 (実績)	増減	増減率
売 上 高	95,680	105,078	+9,398	+9.8%
営 業 利 益	10,534	11,115	+580	+5.5%
経 常 利 益	9,719	10,414	+695	+7.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7,566	8,255	+689	+9.1%

○連結業績予想 (平成 29 年度通期)

連結業績予想については、平成 29 年 7 月 28 日に公表した予想数値から修正しております。

■連結業績予想 (対 7 月公表値) (5年ぶりの増収減益の見込み)

(単位：百万円)

	平成 29 年度通期 前回発表予想数値 (7 月公表)	平成 29 年度通期 今回発表予想数値	増減 (対 7 月公表)	平成 28 年度 実績
売 上 高	191,900	195,500	+3,600	179,997
営 業 利 益	7,700	7,700	—	9,126
経 常 利 益	6,200	6,200	—	7,521
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,600	4,600	—	5,517